

読みたい聴きたい

福岡市内の書店『ブックスキューブリック』のオーナー・大井実さんに、毎回テーマに沿った本と音楽を紹介していただきます。ジャンルを超えて楽しめる作品にぜひ、触れてみてください。

撮影/スタジオパッション

ココロに、 ウツクシク

(心の薬になる作品)

日常から生まれた負の感情をどう解消するかが、人生をうまく生きるコツのような気がします。



『LOVE? 愛ってなんだろう』
ダライ・ラマ14世 テンジン・ギャツォ
発行元/株式会社マーブルトロン
販売元/中央公論新社
1,680円(税込)



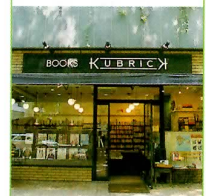
『バッハ：ゴールドベルク変奏曲』
グレン・グールド
ソニークラシカル
1,680円(税込) SICC-328

■ 大井実さん

話題の一冊から普遍的な作品を揃える福岡市内の書店「ブックスキューブリック」のオーナー。

◎大井さんが解説を手掛けた、作家・白石一文氏の著作『もしも、私があなただったら』が絶賛発売中。ブックスキューブリック

福岡市中央区赤坂2-1-12 ネオグランデ赤坂1階
☎092-711-1180 <http://www.bookskubrick.jp>



日本中を震撼させるような残酷な犯罪や、信じがたい出来事が相次いでいます。これらの事件を引き起こす要因は様々でしょうが、現代人が毎日の生活で感じるストレスをうまく解消できず、無意識に心を閉ざしてしまっていることも大きな要素ではないでしょうか。たとえばそのようなマイナスに向かう気持ちを浄化させるひとつの方法として、自分にとって癒しとなるような本や音楽をいくつか持っておくことも大切なことだと思います。

『LOVE? 愛ってなんだろう』

は、チベットの国家元首であり、チベット宗教の最高指揮者のダライ・ラマの著作。2003年に彼が来日した時の講演録で、美しい空や雲などの写真と、自然をイメージさせるようなイラストをからめたビジュアルブックになっています。

テーマは「愛」がもたらす、幸福と平和について。愛とは何かという本質的な話から、人間の土台を築きあげるために必要不可欠な母親の愛情、そして、誰もが心に持っている愛を大切に育む必要性など、生まれてから死んでいく最後の瞬間まで愛

に支えられて生きていくことを教えてくれます。さらに、慌ただしく過ぎていく日常の中、ともすれば忘れがちになる愛をもっと多くの人に与え、愛をもっと大切にすることができれば、世界中で起こる戦争やテロなどの暴力的行為をなくすことができるのではないかと強く訴えています。彼のおおらかな人柄が伝わる優しい語り口調からも、固くなった心を解きほぐしてくれるような一冊だと思います。

そして、このダライ・ラマの言葉のように自分にとって心の薬になる

音楽は、『バッハ：ゴールドベルク変奏曲』。孤高の天才と言われたピアノリスト、グレン・グールドが死の直前に発表した一枚です。この曲は、1955年にグールドがデビューした時と、26年後の1981年の2度に渡って収録されていますが、私はアップテンポなデビュー作よりも、彼の最後の作品となる1981年盤の方を愛聴しています。今まで何百回と聴いていますが、まったく飽きのこない奇跡のような傑作ですので、クラシックに興味がある方もそうでない方も、ぜひ手に取ってみてください。